いじめの 未然防止に向けて

みんなが しあわせに なるために

いじめは、決して許されないことであり、生命にかかわる重大な人権侵害です。すべての子どもが輝き、しあわせに過ごせる学校・社会をつくるためには、学校・保護者・地域がともに子どもたちへのかかわりを見つめ直すことが大切です。



高松市教育委員会

いじめ防止対策推進法

この法律は、社会総がかりでいじめの問題に向き合うため、基本的な理念や体制の整備について定めたものです。

「いじめ」とは (第2条より)

「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している 等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む。)であって、当 該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

このなかには、いじめの防止、早期発見、いじめに対する措置について取り 組むことが規定されています。また、学校いじめ防止基本方針の策定や学校に おけるいじめの防止等の対策のための組織の設置が義務付けられています。

学校におけるいじめの防止のために

基本的考え方

児童生徒が、友だちや教職員と信頼できる関係のなか、安心・安全に学校生活を送ることができ、規 律正しい態度で授業や行事に主体的に参加・活躍できるような「授業づくり」や「集団づくり、学校づ くり」を行っていくことが大切です。

① いじめについての共通理解

「いじめは人間として絶対に許されない」という雰囲気を学校全体で共有しましょう。

② いじめに向かわない態度・能力の育成

人権教育や道徳教育の充実、読書活動・体験活動などの推進により、他人の気持ちを共感的に理解できる豊かな情操を培いましょう。また、児童生徒のコミュニケーション能力を育てましょう。

③ いじめが生まれる背景と指導上の注意

いじめ加害の背景には、勉強や人間関係等のストレスが関わっていることを踏まえ、一人ひとりを 大切にした分かりやすい「授業づくり」を進めていくこと、児童生徒の人間関係を把握して一人ひと りが活躍できる「集団づくり、学校づくり」を進めていきましょう。

④ 自己有用感や自己肯定感を育む

すべての児童生徒が認められている、満たされているという思いを抱くことができるよう、児童 生徒が活躍でき、他者の役に立っていると感じとることができる機会を提供し、自己有用感を高め、 自己肯定感を育みましょう。

⑤ 児童生徒自らがいじめについて学び、取り組む

児童生徒自身が主体的に考え、いじめの防止を訴えるような取組を推進しましょう。

(参考文献: 平成 25 年 10 月 11 日文部科学大臣決定「いじめ防止基本方針」の別添資料『学校における「いじめの防止」「早期発見」「いじめに対する措置」のポイント』)

いじめの未然防止において、主に学校で取り組むべき課題は

深刻ないじめを減らしていくうえで、成果をあげているのが**「いじめを生まない」**という 未然防止の発想に立った取組です。

未然防止の取組は、特別な訓練やプログラムを実施することだけではなく、**「居場所づくり」や「絆づくり」**をキーワードに、学級・学校づくりを進めることにより、互いに認め合える人間関係づくりや学級・学校風土づくりを児童生徒自らが行うことをめざしています。

「居場所づくり」とは



学級や学年、学校を児童生徒の居場所になるようにしていくことです。不安を感じたり、落ち着かないと感じたりしないという安心感も重要です。そのためには、授業改善、授業の見直しから始めていくことが必要になります。

また、授業中は正しい姿勢を保つことに慣れさせておくことも大切です。そうでないと、「わかる授業」を行っていても集中力が途切れて「わからなくなる」こともありえます。忘れ物をさせない指導なども同じです。「子どもが困らないようにする」ための場所づくりと考えましょう。

「絆づくり」とは



子ども自らが主体的に取り組む活動のなかで、互いのことを認め合っることであり、心のつながりを感じたりできることです。子ども同士が一緒に活動すいを通して自らが感じとって有用感じとものが「絆」であり、「自己有用感」を行うの教師といるまでも子ども(同士)です。教ことです。を促すためには、教師の働きかけが不可欠が必ずでは、教師の働きかけが不可欠が必ずし、組織的・計画的な働きかけが必要です。すべての児童生徒が活躍できる場面を準備することが大切です。

このような視点で「授業づくり」や「集団づくり・学校づくり」を見直しましょう。きちんと授業に参加し、基礎的な学力を身に付け、認められているという実感をもった子どもは、いたずらにいじめの加害に向かうことはないと考えます。

すなわち、



規律(きりつ) 学力(がくりょく) 自己有用感(じこゆうようかん)

が大切です。





(参考文献: 文部科学省 国立教育政策研究所 生徒指導リーフ増刊号 「いじめのない学校づくり」平成25年11月) (参考文献: 文部科学省 国立教育政策研究所 「いじめについて、正しく知り、正しく考え、正しく行動する」平成25年7月) いじめの問題は、すべての子どもに関係する重大な人権問題です

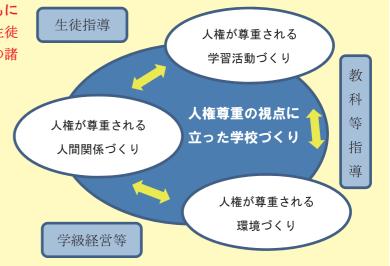
いじめの未然防止について、

人権教育の視点から実践化を図りましょう

人権教育の目標である「自分の大切さとともに 他の人の大切さを認める」ことのできる児童生徒 の育成が、暴力行為やいじめ等の生徒指導上の諸 問題の未然防止にもつながります。

「人権尊重の視点に立った学校づくり」

- ○人権が尊重される環境づくり (安心して過ごせる学校・教室)
- ○人権が尊重される人間関係づくり (互いのよさや可能性を認め合えるなかま)
- ○人権が尊重される学習活動づくり (一人ひとりが大切にされ、

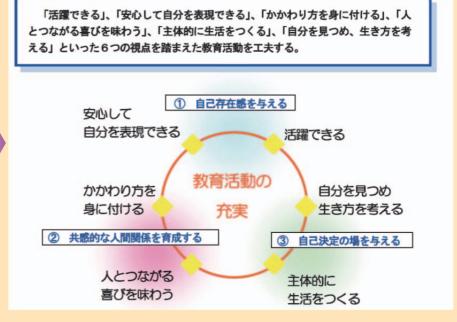


互いのよさや可能性を発揮できる取組) (参考文献:人権教育の指導方法等の在り方について [第三次とりまとめ])

本資料では、「6つの視点」を踏まえた「人権尊重の視点に立った学校づくり」の取組を 進め、いじめの未然防止に努めることとしています。

「活躍できる」、「安心して自分を表現できる」、「かかわり方を身に付ける」、「人とつなが る喜びを味わう」、「主体的に生活をつくる」、「自分を見つめ、生き方を考える」といった「6 つの視点」を踏まえた教育活動を実施すること、つまり学校全体のプロジェクトとして位置 付けることが、組織的な生徒指導を進めていくうえで大切です。





(参考文献:香川県教育委員会「小学校問題行動等防止プログラム」平成23年2月)

① 自己存在感を与える

躣

【生徒の自主的活動】

① ねらい

学校行事等、児童生徒に多くの活躍の場を与えることで自 己存在感をもたせ、集団への自主的な参画意識を高める。ま た、自分たちのなかまの活動に触発され、支持的ムードを高 め、なかまとともに向上していこうとする心を育てる。

② 内容

- ・ 児童生徒会のあいさつ運動
- ・ 児童生徒会による、服装や持ち物等の校則の立案・周知
- 人権劇の開催

③ 留意すること

- ・ 学年全体での人権学習を通じて問題提起を行い、全体で 意見交流の場を設定する。
- ・ 教師は児童生徒の自主的活動を支えるため、サポート役、 相談役となる。



生徒会によるあいさつ運動〉



〈学年全体での人権学習〉

安心して自分を表現できる

【クラスから学年・全校につなぐなかまづくり】

① ねらい

自分のしんどい思いを素直に語り、なかまが真剣 に受け止め、つながることで、今よりなかまのこと を大切に思い、自分を好きになることができる。

② 内容

自分の本当の思いや考えを発表する。

(例)行事前(なかまとどんな行事にしたい?クラスの 問題はなに?自分の課題は?など)

行事後(行事を通して気付いたなかまのよさ、 行事前後で変わったなかまへの思いなど)

③ 留意すること

日頃からじっくりと児童生徒と向き合い、一人ひ とりの内面を教師が理解しておく。保護者の思いや 願いを受け止め、ともに児童生徒を支えていこうとす る姿勢で取り組む。また、構成的グループエンカウン ターや社会的スキル学習などを取り入れ、なかま同士で本

〈クラスミーティング (語り合い学習)〉



② 共感的な人間関係を育成する

かかわり方を身に付ける

【人権総合学習】

① ねらい

地域を核とした体験や様々な立場の方々との交流を共有する価値ある活動を通して、人としての生き方を学び、人権感覚を磨き、自尊感情を育てる。

② 内容 <小学校2年生の例: 友だちのよいところを見つけ、大切にしよう>

生活「おもちゃを作ろう」

◆ 生活「保育所の友だち といもほりをしよう」

→ 生活「養護学校の友だちに喜んでもら えるようななかよし集会を考えよう」

学行「人権集会で伝えよう」

」 友だちのよいところを見つけ、 ____ 大切にしよう。

社会的スキル「友だちカルタを作ろう」友だちのよいところをお互いに認め合う雰囲気を味わう。

構成的グループエンカヴンター 「おたすけこおりおに」 ・

社会的スキル「カードで花束」 お互いに認め合う体験を通し て、自他のよさを感じ取る。

③ 留意すること

総合的な学習の時間(小学校1・2年生は生活科)を中心に、教科、道徳等を関連付けながら展開する。そこに、構成的グループエンカウンターや社会的スキル学習、参加体験型人権学習を一つの方向性をもってプランニングする。



〈おたすけこおりおに〉

人とつながる喜びを味わう

【異学年縦割り活動】

① ねらい

年間を通じて、異学年グループでの交流や地域の方々との交流等を行い、いろいろな人たちと触れ合う。そのなかで、相手を思いやる心や感謝の気持ちを高める。

また、異学年グループを構成し、活動するなかで高学年としてのリーダー性を高める。



- ・運動会での全校ダンス ・音楽集会 ・グループ遊び
- ・絵本、紙芝居の読み聞かせ ・異学年、地域交流集会 等
- ③ 留意すること

活動を定期的に行い、意識の継続を図る。高学年が主体的に活動できるように、進行メモを作る等事前の計画や準備を行う。感謝の気持ちを表現するために、「ありがとうカード」の掲示や異学年、地域交流集会でお世話になった方へのお礼の手紙の作成等を行う。



〈運動会での全校ダンス〉



〈異学年、地域交流集会で のうどん作り〉

自分を見つめ 生き方を考える

【生き方につながる人権学習】

① ねらい

様々な人権問題についての学習を通して、人間の尊厳を守り、 差別を解消しようと生きてきた人々の思いや生き方を知り、自分 の生活と重ねて考え、自分の生き方を見つめ直すことができる。

② 内容

人権課題に直面した人々の生き方に触れたり、自分の生活課題 と結び付けて考えたりすることで自分自身の生き方を見つめ直 (人権学習でのグループ活動)

同和問題をはじめ、高齢者、障がい者、ハンセン病回復者等に かかわる人権問題



- ・ 小・中学校の連携を密にし、学びの連続性や系統性を考えた 計画的な学習を重視する。児童生徒の実態を考慮し、育てたい 資質・能力を明らかにする。
- 教職員自身の人権意識を高めるために、差別に立ち向かって きた当事者との出会い等を大切にして、人権課題を他人事でな く「自分のこと」としてとらえ、教材開発に生かす。
- 授業に参加体験型学習の手法を取り入れる。その学習のなか で、体験だけでなく、他者との話し合いや、自らの生活を振り返 る場等を設定する。





〈参加体験型学習 (ロールプレイ)〉

主体的に生活をつくる

【主体的な学び】ユニバーサルデザインの授業から

① ねらい

すべての児童生徒が参加できる、活躍できる授業づくりをすることで、学力向上・生徒指導 上の諸問題の未然防止につながるとともに、児童生徒の 主体性や自尊感情を高めることができる。

② 内容

③ 留意すること

ユニバーサルデザインの授業づくり【わかる・できる・楽しい】〈視覚化を意識

〈焦点化〉… ねらい、見通し、発問等を明確にする。

〈視覚化〉… 色使いを工夫・配慮した板書、掲示等をする。

〈共有化〉… ペア、グループ、全体へとつなげていく学び合い。 落ち着いて学ぶことができる学級集団づくりに努める。



〈自分の考えを明確にする交流活動〉

- 教室の環境整備をする。(刺激への配慮、既習事項の掲示、自尊感情を高めるノートコーナー等)
- 児童生徒とともに学習過程をつくる。(本時の学習の流れを掲示等)
- 個に応じた支援を行う。(選択できるヒントカード等)
- 自分の考えを友だちに伝え合う交流の場面の工夫をする。(学習の形態の工夫等)
- 「聴く」姿勢を重点に置き、聞き合う・認め合う支持的風土の学級集団の育成をする。

安心して過ごせる環境づくりについて

■地域との連携や異校種間の連携

いじめの未然防止には、学校だけでなく、地域や異校種と連携した取組を行うことも重要です。

いじめの未然防止のための学校・地域連携モデル

- ・地域と連携した「スマイルあいさつ運動」や「ボランティア清掃」の実施
- ・地域の関係機関等との合同子育てプランの策定、合同研修会の実施



〈スマイルあいさつ運動〉



〈ボランティア清掃〉



〈地域合同研修会〉

■「強めよう絆」月間



いじめのない学校づくりを目標に、各学校で「強めよう絆」月間を設定し、児童生徒会を中心に、友だち、家族、地域等との「絆を強める」活動を行うことが大切です。



〈なかま集会でいじめをなくそう〉



〈人権集会で学びを発信しよう〉

いじめの問題の相談には

高松市教育委員会

名 称	相談内容	所 管	相談日・時間	電話番号
いじめ相談電話	いじめ相談	学校教育課	月〜金 8:30〜19:00 (祝日、年末年始は除く)	821-0099
いじめ相談窓口	いじめ相談	学校教育課	月〜金 8:30〜17:15 (祝日、年末年始は除く)	839-2616
こども スマイルテレホン	いじめなどの 子どもにかかわる相談	少年育成 センター	月~金 8:30~19:00 (祝日、年末年始は除く)	839-2525

その他、香川県教育委員会にも相談電話や窓口があります。 高松市教育委員会 人権教育課 平成27年3月発行